



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月10日

上場会社名 株式会社巴川製紙所 上場取引所 東  
 コード番号 3878 URL http://www.tomoegawa.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 善雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 山口 正明 TEL 054-256-4319  
 CFO経営戦略本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	16,965	2.5	241	△24.1	133	△65.1	△4	ー
27年3月期第2四半期	16,546	△5.0	318	△35.2	382	△27.4	398	8.8

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 108百万円 (△74.1%) 27年3月期第2四半期 419百万円 (△49.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△0.08	ー
27年3月期第2四半期	7.82	ー

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	40,039	13,953	31.4	246.52
27年3月期	40,508	14,278	31.8	252.87

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 12,573百万円 27年3月期 12,897百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	ー	0.00	ー	5.00	5.00
28年3月期	ー	0.00	ー	ー	ー
28年3月期(予想)	ー	ー	ー	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	2.6	700	276.6	700	46.8	300	515.2	5.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	51,947,031株	27年3月期	51,947,031株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	942,716株	27年3月期	941,755株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	51,004,788株	27年3月期2Q	50,990,660株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表等 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	7
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善や個人消費の持ち直しなどもあり、緩やかな回復基調をたどりました。一方、世界経済は、中国・アジア地域での景気の減速もあり、依然として不透明な状況が続いています。

このような状況の下、ディスプレイ関連製品の受注減少や洋紙関連などでの既存製品の市場縮小による減収があったものの、中国事業に関する子会社2社を新たに連結対象に加えたトナー関連事業と機能紙関連事業が堅調に推移したことに加え、前年同期に比べて円安の恩恵もあったことから、当第2四半期連結累計期間における売上高は、前年同期と比べ419百万円増収の16,965百万円(2.5%増)となりました。

利益面では、前期後半に実施した半導体関連製品の価格対応の影響などから、営業利益は前年同期と比べ76百万円減益の241百万円(24.1%減)となりました。

一方、経常利益は、前年は年間を通じ好調に推移したディスプレイ関連の合弁事業が、調整局面に入ったことなどにより持分法による投資損益が大幅に悪化した影響が大きく、248百万円減益の133百万円(65.1%減)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損益は、取引先との契約解除に伴う損失(38百万円)を特別損失に計上したことなどから4百万円の損失となり、グループ企業再編に伴う持分変動利益(190百万円)を特別利益に計上した前年同期と比べ403百万円の減益となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

#### ①プラスチック材料加工事業

プラスチック材料加工事業では、ディスプレイ関連製品の受注減少による減収があったものの、中国事業に関する子会社2社を新たに連結対象に加えたトナー関連事業が堅調に推移したことに加え、前年同期に比べて円安の恩恵もありました。また、利益面では前期後半に実施した半導体関連製品の価格対応の影響などがありました。

この結果、売上高は10,720百万円(対前年同期比4.7%増)となり、セグメント(営業)利益は353百万円(対前年同期比3.4%増)となりました。

#### ②製紙・塗工紙関連事業

製紙・塗工紙関連事業では、機能紙関連事業が堅調に推移したものの、洋紙関連などの既存製品の市場が縮小しました。

この結果、売上高は6,206百万円(対前年同期比1.0%減)、セグメント(営業)損失は126百万円となり、対前年同期比で81百万円の減益となりました。

(参考) セグメントの概況

(単位：百万円 比率：%)

	売上高			セグメント利益		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減率	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減率
プラスチック材料加工事業	10,235	10,720	4.7	341	353	3.4
製紙・塗工紙関連事業	6,271	6,206	△1.0	△45	△126	—
その他	39	38	△2.2	10	3	△64.8
計	16,546	16,965	2.5	306	230	△24.9
調整額	—	—	—	12	11	—
四半期連結損益及び 包括利益計算書計上額	16,546	16,965	2.5	318	241	△24.1

(注) セグメント利益は営業利益に相当します。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、40,039百万円で、前連結会計年度末に比べ469百万円の減少となりました。流動資産は20,302百万円で、前連結会計年度末に比べ573百万円の減少となり、その主な要因は製品が増加したものの、現金及び預金が減少したことによるものです。固定資産は19,736百万円で、前連結会計年度末に比べ103百万円の増加となり、その主な要因は償却による有形固定資産の減少があったものの、日彩控有限公司及び日彩影像科技(九江)有限公司を連結の範囲に含めたことによるものです。

負債合計は、26,086百万円で、前連結会計年度末に比べ144百万円の減少となりました。流動負債は16,779百万円で、前連結会計年度末に比べ58百万円の増加となり、その主な要因は支払手形及び買掛金が減少したものの、1年内返済予定の長期借入金や未払金が増加したことによるものです。固定負債は9,306百万円で、前連結会計年度末に比べ202百万円の減少となり、その主な要因は返済による長期借入金の減少によるものです。なお、当第2四半期会計期間末における有利子負債残高は14,205百万円と、前連結会計年度末に比べ5百万円の減少となりました。

また、純資産は、13,953百万円で、前連結会計年度末に比べ325百万円の減少となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ602百万円減少し、2,808百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益91百万円に、仕入債務が342百万円減少したものの、減価償却費799百万円の計上に加え、たな卸資産が159百万円減少したことなどから288百万円の増加となり、前年同期と比べ649百万円の減少となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が383百万円あったことなどから486百万円の減少となり、前年同期と比べ165百万円の増加となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入が839百万円あったものの、長期借入金の返済による支出が846百万円あったことに加え、配当金の支払額が257百万円あったことなどから509百万円の減少となり、前年同期と比べ1,115百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、当期を初年度とする第6次中期経営計画において、I o Tの流れの中で、抄紙技術・塗工技術といった当社の強みの再定義により、熱・電気・電磁波コントロール材料関連を重点分野と定め、当該分野への経営資源の積極的投入によりiC a s(アイキャス)ブランドでの新製品の開発・上市を加速させ、成長軌道に戻ることを目指しております。

この活動成果が業績に反映されるにはしばらく時間を要するものの、年度後半にかけて、トナー関連での売上増、エネルギーコストの削減、持分法による投資損益の改善などが見込まれることから、平成27年5月15日に公表した業績予想(売上高35,000百万円、営業利益700百万円、経常利益700百万円、親会社株主に帰属する当期純利益300百万円)の達成を引き続き目指してまいります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間より、日彩控股有限公司及び日彩影像科技(九江)有限公司は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

##### (企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,465	2,862
受取手形及び売掛金	7,379	7,215
製品	6,474	6,583
仕掛品	80	77
原材料及び貯蔵品	1,912	1,894
その他	1,574	1,679
貸倒引当金	△11	△10
流動資産合計	20,875	20,302
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,829	5,779
機械装置及び運搬具(純額)	4,128	4,348
その他(純額)	4,356	4,529
有形固定資産合計	14,314	14,657
無形固定資産	239	286
投資その他の資産		
その他	5,079	4,808
貸倒引当金	△0	△15
投資その他の資産合計	5,079	4,792
固定資産合計	19,632	19,736
資産合計	40,508	40,039
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,525	5,160
短期借入金	6,520	6,526
1年内返済予定の長期借入金	1,666	1,862
未払法人税等	117	105
賞与引当金	402	404
その他	2,488	2,720
流動負債合計	16,720	16,779
固定負債		
長期借入金	6,023	5,816
退職給付に係る負債	2,697	2,751
役員退職慰労引当金	200	182
その他	588	556
固定負債合計	9,509	9,306
負債合計	26,230	26,086

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,894	2,894
資本剰余金	3,582	3,582
利益剰余金	6,249	5,807
自己株式	△323	△323
株主資本合計	12,403	11,961
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	422	409
繰延ヘッジ損益	△6	△4
為替換算調整勘定	318	427
退職給付に係る調整累計額	△241	△219
その他の包括利益累計額合計	493	612
非支配株主持分	1,381	1,379
純資産合計	14,278	13,953
負債純資産合計	40,508	40,039



(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	16,546	16,965
売上原価	13,708	14,207
売上総利益	2,837	2,758
販売費及び一般管理費	2,518	2,516
営業利益	318	241
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	19	21
受取保険金	17	35
持分法による投資利益	93	—
その他	89	38
営業外収益合計	220	96
営業外費用		
支払利息	93	98
持分法による投資損失	—	51
シンジケートローン手数料	34	4
その他	29	50
営業外費用合計	156	205
経常利益	382	133
特別利益		
持分変動利益	190	—
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	191	0
特別損失		
固定資産除却損	5	3
契約解除に伴う損失	—	38
その他	—	0
特別損失合計	5	42
税金等調整前四半期純利益	568	91
法人税、住民税及び事業税	70	68
法人税等調整額	68	△21
法人税等合計	139	46
四半期純利益	428	44
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	398	△4
非支配株主に帰属する四半期純利益	30	48
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75	△9
繰延ヘッジ損益	△6	1
為替換算調整勘定	△107	81
退職給付に係る調整額	22	21
持分法適用会社に対する持分相当額	5	△30
その他の包括利益合計	△9	64
四半期包括利益	419	108
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	396	46
非支配株主に係る四半期包括利益	22	62

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	568	91
減価償却費	747	799
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	24	△17
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△28	85
受取利息及び受取配当金	△20	△22
支払利息	93	98
持分変動損益(△は益)	△190	—
売上債権の増減額(△は増加)	△249	△122
たな卸資産の増減額(△は増加)	△412	159
仕入債務の増減額(△は減少)	286	△342
その他	273	△281
小計	1,093	448
利息及び配当金の受取額	21	23
利息の支払額	△100	△111
法人税等の支払額	△98	△115
法人税等の還付額	11	47
その他	11	△3
営業活動によるキャッシュ・フロー	938	288
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△39	△39
定期預金の払戻による収入	39	39
有形固定資産の取得による支出	△388	△383
関係会社株式の取得による支出	△250	—
その他	△12	△102
投資活動によるキャッシュ・フロー	△652	△486
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	717	△182
長期借入れによる収入	1,239	839
長期借入金の返済による支出	△1,222	△846
非支配株主からの払込みによる収入	263	—
配当金の支払額	△307	△257
非支配株主への配当金の支払額	△4	△4
その他	△81	△59
財務活動によるキャッシュ・フロー	605	△509
現金及び現金同等物に係る換算差額	△165	22
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	726	△685
現金及び現金同等物の期首残高	3,062	3,411
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	82
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,788	2,808

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	プラスチック 材料加工 事業	製紙・塗工 紙関連事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	10,235	6,271	16,506	39	16,546	—	16,546
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	0	41	42	420	463	△463	—
計	10,235	6,313	16,549	460	17,009	△463	16,546
セグメント利益 又は損失(△)	341	△45	295	10	306	12	318

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービス等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額12百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	プラスチック 材料加工 事業	製紙・塗工 紙関連事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	10,720	6,206	16,927	38	16,965	—	16,965
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	0	29	30	395	425	△425	—
計	10,720	6,236	16,957	433	17,391	△425	16,965
セグメント利益 又は損失(△)	353	△126	226	3	230	11	241

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービス等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額11百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。